総 務 産 業 常 任 委 員 会（産業G）

期　日　令和元年９月６日（金）
時　間　午後１時３０分から
場　所　議　　場

４．各課説明事項について
（２）産業グループ所管
①　農林振興課
②　国営農地再編推進室
③　農業委員会
④　まちひと交流課
⑤　公営施設課
⑥　教育委員会
（３）その他

５．委員会調査報告（素案）について

６．道内先進地視察（所管事務調査）について

７．その他

○出席委員（１１名）

委員長	３番	山　崎　　仁　君	副委員長	１０番	村　上　忠　弘　君
	１番	川　上　絹　子　君		２番	向　井　孝　一　君
	４番	小　川　ひとみ　君		５番	日　置　紳　一　君
	６番	内ヶ島　祐　一　君		７番	上　村　　忠　君
	８番	岸　　徹　也　君		９番	徳　田　栄　邦　君
	１１番	芳　賀　芳　夫　君	（議長）		村　瀬　　廣　君

○欠席委員（０名）

○出席説明員

町長	外崎秀人君
副町長	中島光弘君
教育長	中山秀悦君
農林振興課長兼結婚相談所長	川平秀明君
農林振興課長補佐兼結婚相談所次長	中里英明君
農林振興課主幹	佐藤直樹君
国営農地再編推進室長	宮本彰君
国営農地再編推進室主幹	白山晋君
農業委員会事務局長	伊藤靖徳君
まちひと交流課長	山田薫君
まちひと交流課長補佐	田中崇君
公営施設課長	安達雄一君
公営施設課長補佐	小西康友君
公営施設課長補佐	由浅和正君
教育委員会事務局長	住吉淳君
教育委員会事務局次長	宮崎吉広君

○出席事務局職員

議会事務局長	成田光康君
議会事務局主事	五十嵐陽基君

開議　１３時３０分

◎開会の宣告

○委員長（山崎　仁君）　皆さんこんにちは。

昨日に続き、総務産業常任委員会、今日は産業グループの所管になります。

お集まりをいただき誠にありがとうございます。

議題に沿って本日も進めて参りますので、どうぞよろしくお願いをいたします。

只今の出席委員は１１名で、定足数に達しておりますので、総務産業常任委員会産業グループ所管を開会いたします。

◎各課説明事項（産業グループ）

○委員長（山崎　仁君）　これより昨日に続き、各課説明事項についてを議題といたします。

本日は、産業グループ所管の説明をいただきたいと思います。

まず始めに、農林振興課より説明願います。

尚、暑いのであればジャケットを脱いで会議を進めたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

農林振興課長、川平君。

○農林振興課長（川平秀明君）　お疲れ様です。

農林振興課では、説明事項１件、報告事項５件について説明させていただきます。

説明につきましては、中里課長補佐が行ないますのでよろしくお願いいたします。

○委員長（山崎　仁君）　農林振興課長補佐、中里君。

○農林振興課長補佐（中里英明君）　（農林振興課長補佐朗読説明、記載省略）

○委員長（山崎　仁君）　説明が終わりました。

只今の説明に対し、質疑があればお受けいたします。

質疑ありませんか。

無ければ以上で、農林振興課の質疑を終わります。

次に、国営農地再編推進室より説明願います。

国営農地再編推進室長、宮本君。

○国営農地再編推進室長（宮本　彰君）　ご苦労様です。

国営農地再編推進室からは、説明事項１件、報告事項２件をご説明いたします。

（国営農地再編推進室長朗読説明、記載省略）

○委員長（山崎　仁君）　説明が終わりました。

只今の説明に対し、質疑があればお受けいたします。

質疑ありませんか。

無ければ以上で、国営農地再編推進室の質疑を終わります。

次に、農業委員会より説明願います。

農業委員会事務局長、伊藤君。

○農業委員会事務局長（伊藤靖徳君）　こんにちは。
農業委員会からは、報告事項のみになりますがよろしくお願いいたします。
（農業委員会事務局長朗読説明、記載省略）
○委員長（山崎　仁君）　説明が終わりました。
只今の説明に対し、質疑があればお受けいたします。
質疑ありませんか。
無ければ以上で、農業委員会の質疑を終わります。
次に、まちひと交流課より説明願います。
まちひと交流課長、山田君。
○まちひと交流課長（山田　薫君）　こんにちは。
まちひと交流課からは、説明事項１件と報告事項１件でございます。
資料説明にあたっては、田中課長補佐が説明いたしますのでよろしくお願いいたします。
○委員長（山崎　仁君）　まちひと交流課長補佐、田中君。
○まちひと交流課長補佐（田中　崇君）　（まちひと交流課長補佐朗読説明、記載省略）
○委員長（山崎　仁君）　説明が終わりました。
只今の説明に対し、質疑があればお受けいたします。
村上君。
○１０番（村上忠弘君）　圧雪車の整備、これ２台あるんですけども、これ２台ともやるのか。それともそうでないのか。
それとその整備をする業者、これメーカーに出すのか。それとも地元業者でやるのか。その辺お知らせください。
○委員長（山崎　仁君）　まちひと交流課長、山田君。
○まちひと交流課長（山田　薫君）　お答えをいたします。
ピリカスキー場の圧雪車の整備の関係でございますが、２台ともの整備の実施を予定しております。
１台の新車、昨年購入した圧雪車については、約６０万円の予算で整備をさせていただきます。予備車といたしまして、古くからある１台ですが、それは４０万円くらいの整備を予定しているところでございます。
この整備にあたりましては、地元業者でお願いをするところでございます。
○委員長（山崎　仁君）　よろしいですか。
他、質疑ありませんか。
無ければ以上で、まちひと交流課の質疑を終わります。
次に、公営施設課より説明願います。
公営施設課長、安達君。
○公営施設課長（安達雄一君）　お疲れ様です。
公営施設課所管は、説明事項３件と報告事項２件についてであります。
説明事項につきましては、小西課長補佐から、報告事項につきましては由浅課長補

佐からそれぞれ説明させていただきますのでよろしくお願いいたします。
○委員長（山崎　仁君）　公営施設課長補佐、小西君。
○公営施設課長補佐（小西康友君）　（公営施設課長補佐朗読説明、記載省略）
○委員長（山崎　仁君）　公営施設課長補佐、由浅君。
○公営施設課長補佐（由浅和正君）　（公営施設課長補佐朗読説明、記載省略）
○委員長（山崎　仁君）　説明が終わりました。
只今の説明に対し、質疑があればお受けいたします。
質疑ありませんか。
無ければ以上で、公営施設課の質疑を終わります。
次に、教育委員会より説明願います。
始めに、教育長からお願いをいたします。
教育長、中山君。
○教育長（中山秀悦君）　こんにちは。
それでは、本常任委員会に初めて出席させていただきます。
ご挨拶と教育関連のご報告をさせていただきます。よろしくお願いいたします。
７月１日の着任から２ヶ月が過ぎました。
改めて、いいまち今金夢のまちのフレーズに愛着を感じさせていただいているところでございます。
今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
では４点、報告させていただきます。
１点目、夏季休業を経ての各小中学校の状況についてですが、各学校とも休業中、その後も大きな事故等も無く、子ども達は落ち着いた雰囲気で日々の授業、学校生活に臨んでおります。
深刻ないじめ事案、長期の不登校もございません。
夏季休業中には、実施から３０年以上の歴史を持つドリームバスツアー、部活動での全道大会出場、平成２年の初派遣から２１回目となります国際交流ニュージーランドバーンサイド高校派遣等、貴重な体験や学習機会がありました。
また、ふるさとキャリア教育推進事業・夢先生では、元プロサッカー選手、大森健作氏から子供たち一人一人に丁寧にコメントを返していただき、先生のその誠実さに触れると共に、北海道教育委員、鶴羽佳子氏のビジネスマナー教室では、その受け答え、接し方から今金の子ども達の規律正しさを再認識する機会となりましたことをご報告させていただきます。
この後、各学校では９月末に種川小学校、１１月１２月に今金小学校、今金中学校が全道へき地複式教育、学校力向上総合実践事業、道徳教育推進のいずれも道教委研究指定レベルの公開研究会を開催いたします。
また、今金小学校では現在、これまでの３学期制から今金中学校と同様の２学期制へ変更を検討しているところであり、今後、保護者の意見を聞いた上で判断する手立てを取っておりますことをご報告させていただきます。

２点目は、総合体育館の運営状況についてです。オープン後、この間、大きなものだけでも町民体育祭、プロチーム、ボレアス北海道バレーボール教室、檜山管内ＰＴＡ連合会研究大会母親研修会等々、そのイベントで町内外の多くの方々にご利用いただいております。

また、日常の利用は、アリーナ、トレーニングルームなど、多くの町民の方々に活用いただいております。

尚、試験的に運用しておりましたシャワー室につきましては、利用者が少なかったこと、また、シャワー室開放時には専用給湯ボイラーを作動させることとなることから、当初の計画どおり災害時及び申込のあったイベント時のみの開放とさせていただくこととといたしました。

３、４点目ですが、７月１６日には初めての試みとして今金、せたな両町の教育委員による檜山北高等学校合同教育委員訪問を行いました。

７月３１日に行われました、令和元年度檜山学区公立学校配置計画地域別検討協議会の席上でも道教委の担当局長から、生徒数が減少する中で地域に１校しかない高等教育機関を地域がどんな学校にしていきたいか、目指すその方向を、その特色を校長と論じていただきたい旨、話がありました。

９月３日に報道がなされましたように今金、せたな両町の中学卒業者数が今年は特に少ないこともあり、令和２年度の檜山北高等学校の間口は２間口とならざるを得ませんでしたが、令和３年度以降の入試につきましては、卒業人口も見定めながら、間口の確保に向けて、檜山北高等学校に支援とともに、その魅力ある学校づくりに向けた要望だけでなく、連携、提案をしていく時代に来ていると認識をしております。

奇しくも８月１３日に開催されました今金町成人祭では、海外でも技術指導をつづけられている今金町出身、檜山北高等学校ＯＢの国内トップヘアメイクアーティスト百成位年氏に講演をいただくことができました。

そこには道を究めた本物に接し、真剣に話を聞く真摯な新成人の姿がございました。今後も今金町の子ども達にそのような夢を与えられる人を育てるべく、教育行政を進めていけるよう努力をして参りたいと考えております。

どうぞよろしくお願いをいたします。

以上です。

○委員長（山崎　仁君）　次に、事務局より説明願います。

教育委員会事務局長、住吉君。

○教育委員会事務局長（住吉　淳君）　お疲れ様です。

教育委員会からは、資料に基づきまして、説明事項２件、報告事項８件につきまして、宮崎次長より説明いたしますのでよろしくお願いいたします。

○委員長（山崎　仁君）　教育委員会事務局次長、宮崎君。

○教育委員会事務局次長（宮崎吉広君）　（教育委員会事務局次長朗読説明、記載省略）

○委員長（山崎　仁君）　説明が終わりました。

只今の説明に対し、質疑があればお受けをいたします。

村上君。
○１０番（村上忠弘君）　体育館ステージのところのガラスにひびが入ったということなんですけども、そのひびの入った経緯について教えて下さい。
○委員長（山崎　仁君）　教育委員会事務局次長、宮崎君。
○教育委員会事務局次長（宮崎吉広君）　小学校のステージの北側にありますガラスについてなんですが、原因については不明となっておりまして、警察にも被害届を出したところなんですが、その後も原因は不明となっております。
ひび割れの箇所につきましては１枚となっております。
○委員長（山崎　仁君）　よろしいですか。
他、ありませんか。
岸君。
○８番（岸　徹也君）　新総合体育館の「あいきゅーぶ」の利用状況というものの説明がありまして、大変たくさんの町民の方々が利用されていると、これはもう素晴らしいことだなというふうに数字を見させていただきました。と同時にたくさんの方が来るということは、それだけ何というんですか、リスクと言ったらちょっとおかしいかもしれませんけれど、事故にあわれる可能性もやはり高くなってくるのかなということも同時に考えられるわけで、そういった部分の何て言うんですかね、安全指導体制と言うんでしょうか、安全管理と言うんでしょうかね。
例えば、体育館であれば指定管理の業者に通常は見てもらっているわけでございますから、そういった方々がどういったその安全法の勉強であるとか、例えば応急処置のそういったものを必須として常駐されているとか、何かそういった部分の安全対策という部分で、ちょっと心配に思ったものですから、そのあたりの対策が何かあるのであればお知らせいただきたいなと思います。
○委員長（山崎　仁君）　教育委員会事務局長、住吉君。
○教育委員会事務局長（住吉　淳君）　お答えしたいと思います。
管理委託している会社につきましては、配置している職員について、毎年、消防で実施している救急法の講習会、また、ＡＥＤの使い方等も毎年更新しながらやっております。
今年度配置いたしましたスポーツアドバイザーにつきましても、救急法の講習会、ＡＥＤの使い方についても、今年度すでに実施しているところでございますのでよろしくお願いしたいと思います。
○委員長（山崎　仁君）　よろしいですか。
他、ありませんか。
日置君。
○５番（日置紳一君）　認定こども園に通っている児童の、今回無償化から外れたといいますか、０歳から２歳の園児が４３名ほど、これ認定こども園だけかどうかわかりませんけど、いるということですけども、このうち住民税非課税の家庭のお子さんが何名おられるのか教えていただければと思います。

○委員長（山崎　仁君）　教育委員会事務局次長、宮崎君。
○教育委員会事務局次長（宮崎吉広君）　０から２歳児クラスにつきましては、４３名おりまして、その内、無償化対象につきましては５名となっております。
○委員長（山崎　仁君）　よろしいですか。
他、質疑ありませんか。
無ければ以上で、教育委員会の質疑を終わります。
産業グループ全体を通して委員の皆様から何かございませんか。
無ければ、産業グループ所管の説明を終わります。

◎議題３　その他
○委員長（山崎　仁君）　次に議題３、その他を議題といたします。
委員の皆様から何かありませんか。
無ければ、理事者からいかがですか。
それであれば委員長から一言、皆さんにお願いしたいと思います。
本委員会は今季から一常任委員会制を採用してここまで運営をして参りました。
本日の常任委員会においても的確な説明と、それから簡潔明瞭、質疑応答などで大変時間が効率よく使われていると。
昨日もそうなんですけれども、今後の委員会運営についても特に補正がらみの部分というのは、時間の配慮をする必要もあるのかなという気もします。それから所管事務調査、実態調査の中では大勢の移動ということでは、車の利用だとか、それから説明員の皆さんが大変多く集まったようなこともお聞きをしております。今後の常任委員会、所管事務調査も含めて効率のいい委員会運営の為に何かご提案でもあればそれぞれお聞かせをいただきたいなというふうに思います。
理事者、職員の皆さんにおいても、その辺をご配慮いただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。
それでは、その他を終わってよろしいですか。
無ければその他を終わり、理事者の皆様にはそれぞれ２日間に渡り、説明事項をいただきありがとうございました。
これにて退席をいただきたいと思います。
どうもありがとうございました。
３時まで休憩をいたします。

休憩１４：３７
開議１５：００

◎委員会調査報告
○委員長（山崎　仁君）　休憩を打ち切り、開議をいたします。
次に委員会調査報告書（素案）についてを議題といたします。

素案の内容については局長に説明いたさせます。

議会事務局長、成田君。

○議会事務局長（成田光康君）　（議会事務局長朗読説明、記載省略）

○委員長（山崎　仁君）　説明が終わりました。

素案について皆さんからご意見をいただきたいと思います。

まず、所管事務調査項目１、調査目的、調査日程、この３点についてはよろしいですか。

４番の調査結果、総務グループ、それから財政状況表、その他、それから産業グループ、ここの中ではいかがですか。

この表中の計数に関しては、これ確認は出来ていますね。

計数に関しては間違いのないようなことであります。

いかがですか。

マーケットという表現が出ていますけど、これは何を指すのか、ただマーケットという表現だけで伝わるのか。正式な名称はなんて言うんですか。

暫時休憩いたします。

休憩１５：１８
開議１５：２５

○委員長（山崎　仁君）　休憩を打ち切り、開議いたします。

次に３ページからの４、意見、総務グループ、産業グループですけれども、皆さんから何かあれば、字句の訂正、それから意見等があればお受けをいたします。

字句の修正については３ページ、それから４ページ、それぞれご指摘をいただいておりますけれども、他、あれば。

いかがですか。

徳田委員。

○９番（徳田栄邦君）　３ページの意見の中の上から５行目に函館建設管理部今金出張所になっているんですけれども、これ今は、所長以下の人間が管理部門だけでなくて、河川の港湾かどっちかが一人はいるらしいんですよね。だからこの辺のところを公営施設課に確認して、この文言でいいかどうかというのを、ちょっとあたってもらえませんか。

これでいくと、維持管理部門よりいないことになっていますけども、実際は八雲にいた人間が函館だとか、江差だとかにみんな分かれたんですけども、その中のなんか一人はこっちにいるみたいなんですよね。

○委員長（山崎　仁君）　今、ご指摘のところについては、今後、担当課に問い合わせをしながら文言に間違いのないように修正をさせていただきたいと思います。

よろしいですか。

○９番（徳田栄邦君）　はい。

○委員長（山崎　仁君）　それでは、４行について、函館建設管理部今金出張所から存続に向けた働きかけをお願いしたいという、この４行については再度、原課と話を聞きながら修正をしたいと思います。

他、いかがですか。

この件に関しては、前回のご意見をここに網羅するということで素案を作っております。もし、よろしければこれを素案のまま受けさせていただき、修正をかけながらさらに皆さんからご意見等があれば、最終、成案を作るのが１２月定例会に向けての常任委員会ですから、それまでに、もし、修正するところがあればお示しをいただきたいと思います。

そういう進めでよろしいですか。

それでは委員会調査報告（素案）については、いただきましたご意見を元に正副委員長、事務局で再度、修正を加え、皆様方からのご意見等があれば、それも受けながら１２月定例会前の常任委員会で成案を示したいという、こういうことでよろしいですか。

では、そのように決定をいたします。

◎道内先進地視察（所管事務調査）

○委員長（山崎　仁君）　次に、道内先進地視察所管事務調査についてを議題といたします。

暫時休憩をした中でこれまでの経過等の報告をいたさせます。

暫時休憩いたします。

休憩１５：３２
開議１６：００

○委員長（山崎　仁君）　休憩を打ち切り、開議いたします。

常任委員会所管事務調査実態調査については、予算要求をしております。これは、９月定例会で提案されますので、皆さんももうご承知だと思います。

内容については、当初、２泊３日で３ヶ所程度の視察を、実態調査をしたいということでありましたが、中々受け入れるまちの事情があり、すべてが可能ではないということに至りました。

よってこの内容をすべて、予算要求はするんですけれども実施はしない、いわゆる執行しないということが一つの考え方。それからもう一つは、皆さんからこれからご意見をいただくんですけれども、それも含めながらご意見をいただきたいと思います。

何か意見ありませんか。

執行しないということも含めたご意見をいただきたい。

徳田君。

○９番（徳田栄邦君）　実施するかしないかも含めて、委員長と副委員長に再度、ご協

議をして、我々はその結論に対して従いますんで、もう一度、委員長と副委員長で相談してみてください。

○委員長（山崎　仁君）　他、ご意見ありませんか。

向井君。

○２番（向井孝一君）　今の同僚議員から発言のあった内容と同じ意見なんで、委員長、副委員長にお任せをいたします。

○委員長（山崎　仁君）　他、ございませんか。

無ければ、いま複数の委員からご意見あったように、正副委員長、事務局で再度、最終の調整をしてみるということで決定してよろしいですか。

では、その後、もしかしたら中止もあり得ますので、その点はご理解をいただきたいと思います。

所管事務調査実態調査について他、ご意見があればお伺いをいたします。

ありませんか。

◎その他

○委員長（山崎　仁君）　無ければ、その他を議題といたします。

その他、何かありませんか。ありませんか。

無ければ事務局。

それでは、それぞれその他も無いようでありますので、閉会に進めてよろしいですか。

◎閉会の宣言

○委員長（山崎　仁君）　それでは、これをもちまして本日の総務産業常任委員会産業グループ所管を終わりたいと思います。

どうもありがとうございました。

閉会　１６時０３分